

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP!プラン事業

「小学校理科学校内研修支援事業」

実施報告

# 釧路市立青葉小学校

\*学級数 17 \*児童数 431

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道弟子屈高等学校	教諭	林 正大	地学・物理

## 【本事業のねらい】

小学校第6学年「電気の利用」の単元において、「手回し発電機を使って電気をつくりだしたり、コンデンサーに電気を蓄えたりすることにより、エネルギーが蓄えられることや変換できること」について、児童が観察・実験などの具体的な体験を通して理解するための、教員の指導力の向上を目的に実施した。

## 【実施内容】

1月14日13:30～15:00、青葉小学校理科室において、27名の教員を対象に、小学校第6学年「電気の利用」の単元目標と学習内容、指導上の留意事項を確認した後、「手回し発電機で電気をつくる」、「コンデンサーに電気を蓄える」実験を行った。



## 【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・講師の先生の丁寧な説明や工夫された教材により、難しいと思われた実験も「これならできそうだ」と思うことができました。
- ・手回し発電機が自転車のライトで使用されていることや、コンデンサーがバイクにも応用されていることなど、普段の生活に活用されていることを知るとともに、楽しみながら実験を行うことができました。
- ・子ども達の興味・関心が高まりそうな実験ばかりで、楽しく電気のはたらきを学習させることができそうです。また、学級担任以外は実験をする機会が少ないので、この研修が今後の指導に役立つと思います。
- ・6年生の理科を指導する際に、教師が教科書には掲載されていないことも理解しておくことで、より適切な指導を行うことができると感じました。この研修で学んだことを3学期の授業に生かしていこうと思います。ありがとうございました。
- ・展開例についての説明もあり、これからの指導に生かせる内容でした。また、様々な実験を体験することができ、試行錯誤を繰り返して学習させることの大切さを実感することができました。

## 【来年度以降の実施に向けて】

本校教諭へのアンケート調査結果から、指導の充実を図りたいと考えている領域の研修を実施したいと考えている。